

## 学校経営のポイント

### 外来語言い換え案の“点検”と“提言”を

若井 彌一

去る6月29日、国立国語研究所は、33語の外来語の日本語言い換え案を発表した。

同研究所では、昨年4月に第1回、11月に第2回の言い換え案を出しており、今回は第3回目の提案である(詳細は <http://www.kokken.go.jp/>参照)。

#### 日本語整理としての“言い換え案”

33語は、平成13(2001)年以降の官庁の白書・広報・新聞等で使用された外来語のなかから65語を選び、理解率(理解度)が50%未満の単語に限定した結果であるという。

33語のスペリングと訳語例の一覧を掲げておく(カッコ内数字は、理解度 % を示す)。

1. accountability: 説明責任(4.4), 2. initiative: 主導 発議(27.4), 3. counter part: 対応相手(5.3), 4. governance: 統治(6.8), 5. conference: 会議(12.1), 6. compliance: 法令遵守(5.7), 7. supply-side: 供給側(6.6), 8. skill: 技能(28.0), 9. stance: 立場(37.3), 10. stereotype: 紋切り型(27.8), 11. safeguard: 緊急輸入制限(34.1), 12. setback: 壁面後退(14.3), 13. solution: 問題解決(14.0), 14. tool: 道具(40.9), 15. digital divide: 情報格差(8.8), 16. default: 債務不履行 初期設定(13.4), 17. doctrine: 原則(6.9), 18. domestic violence: 配偶者間暴力(48.0), 19. hazard map: 災害予測地図・防災地図(20.3), 20. public involvement: 住民参加(3.3), 21. public comment: 意見公募(12.5), 22. frontier: 新分野(40.7), 23. breakthrough: 突破(7.9), 24. priority: 優先順位(7.6), 25. presence: 存在感(23.5), 26. bottleneck: 支障(12.3), 27. portfolio: 資産構成 作品集(8.1),

28. manpower: 人的資源(22.4), 29. mission: 使節団 使命(22.4), 30. mobility: 移動性(7.9), 31. universal design: 万人向け設計(29.8), 32. literacy: 読み書き能力 活用能力(6.3), 33. road pricing: 通行課金(3.0)

(カッコ内数字は、読売新聞による)。

教育関係者にとっては、1. アカウンタビリティ、2. イニシアチブ、9. スタンス、21. パブリックコメント、22. フロンティア、24. プライオリティー、27. ポートフォリオ、32. リテラシーなどは、比較的なじみのある単語かと思われるが、一般の理解度が一樣に高いとはいえないことに気づかされる。

#### 各学校でも案の“点検”と“提言”を

国語研究所の言い換え案は、あくまでも案であり、これ以外の訳語を認めないという性質のものではない。

しかし、実際上の運用は「正しい訳語」として権威性を帯びたものとなっていくことも予想される。

だからというわけではないが、理解しやすい、使いやすい単語として定着していくように、中学・高校の場合には生徒にアンケートしてみるのもよいし、小学校であれば、保護者の方々に意見(感想)を聞いてみるのも意味あることと思われる。

そして、その結果を国立国語研究所に知らせてみてはどうであろうか。

最終案に反映されることもあり得るし、仮りに反映されなくても、寄せられた意見内容は貴重なデータとして蓄積され、将来的に適切かつ豊かな日本語の活用に役立つことになるであろう。

(わかい・やいち = 上越教育大学教授)

本紙は、<http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp>でも掲載

●新刊案内●

7月7日最新刊 好評発売中!

教育開発研究所刊

臨教審以降の改革の争点を5分野92項目に整理・徹底分析! 今後の施策を検証する!

『教育改革の論争点』 市川 昭午(国研名誉所員) 編集  
B5判 250頁・定価 2500円